

一般社団法人 **GATEWAY App Japan** の事業

**訪日外国人に向けたWi-Fiサービスの提供と
多機能車載ルータ（V2Xユニット）の利用、
OMOTENASHI APPの連携について**

2015/09/16

任意団体 おもてなしアプリ推進協議会から 一般社団法人 GAJaへ

任意団体 おもてなしアプリ
推進協議会



一般社団法人
ゲートウェイ・アップ・ジャパン

2014年1月から準備
2014年4月から活動を開始



2015年6月に法人登記
2015年7月から活動を開始

訪日外国人・在住外国人を対象



訪日外国人・在住外国人に加え
日本国民を対象

上記対象に対する共通アプリ
おもてなしアプリ（基盤）



左記アプリに加え
コミュニティアプリ（国内日本国民）
アウトバンドアプリ（海外日本国民）

提供する情報の分野は
観光分野 災害にかかわる分野



左記の分野に加え
行政の平時情報の伝達

情報の伝達ルート
既存Wi-Fi環境との連携



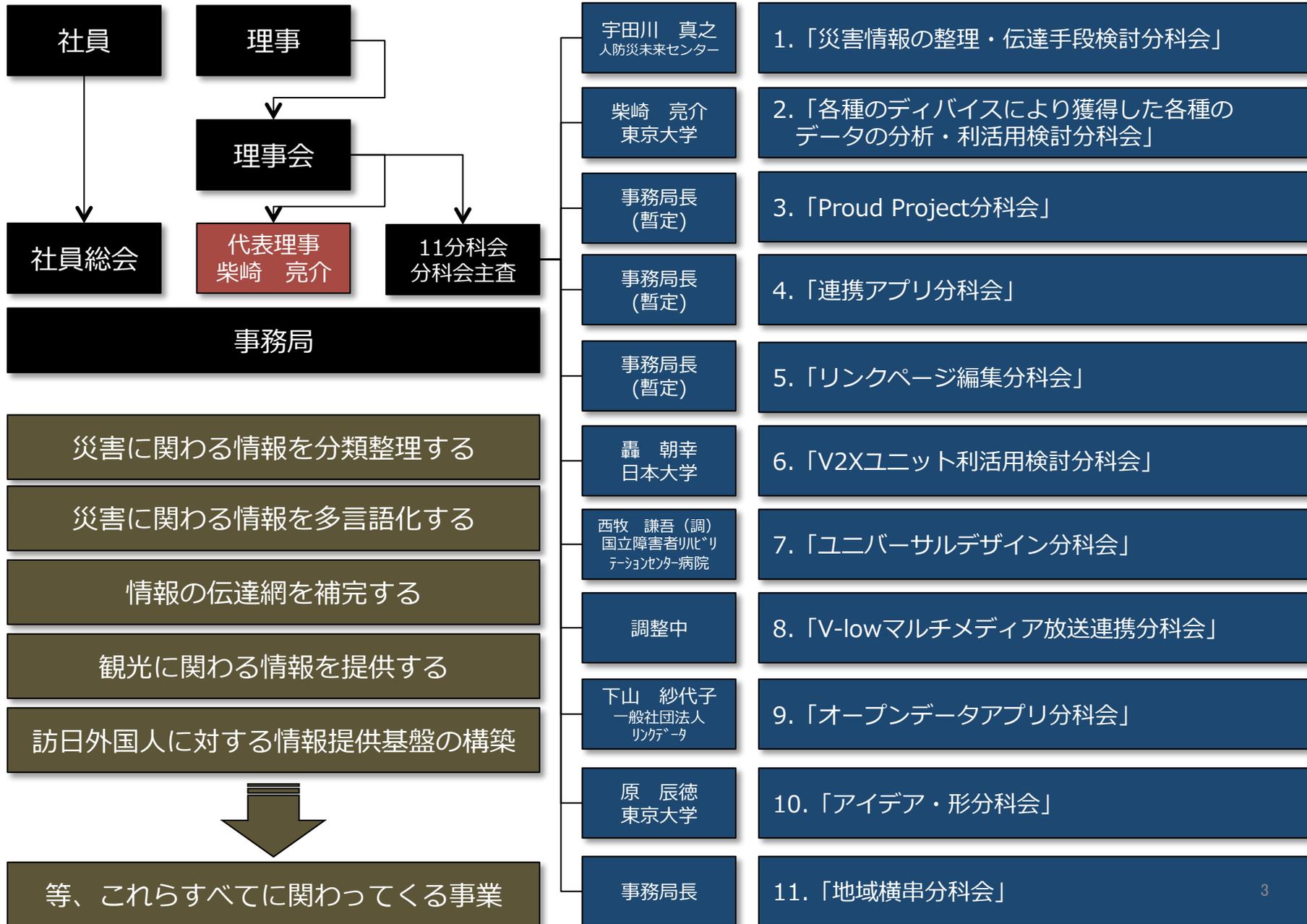
左記のルートに加え
アドホックネットワーク、V-Low等

連携組織は、自治体、民間企業



左記の連携組織に加え
大学、公益社団法人、行政法人等

一般社団法人 GAJa 組織構成概念図



分科会内のタスクフォース（個別プロジェクト）の構成（一部を公開）

1. 「災害情報の整理・伝達手段検討分科会」

2. 「各種のデバイスにより獲得した各種のデータの分析・利活用検討分科会」

3. 「Proud Project分科会」

4. 「連携アプリ分科会」

5. 「リンクページ編集分科会」

6. 「V2Xユニット利活用検討分科会」

7. 「ユニバーサルデザイン分科会」

8. 「V-lowマルチメディア放送連携分科会」

9. 「オープンデータアプリ分科会」

10. 「アイデア・形分科会」

11. 「地域横串分科会」

1.1. “文例センター”

1.2. “自治体勉強会”
（多言語情報伝達のあり方に関する勉強会）

1.3. 大規模災害時の
アドホックネットワークタスクフォース

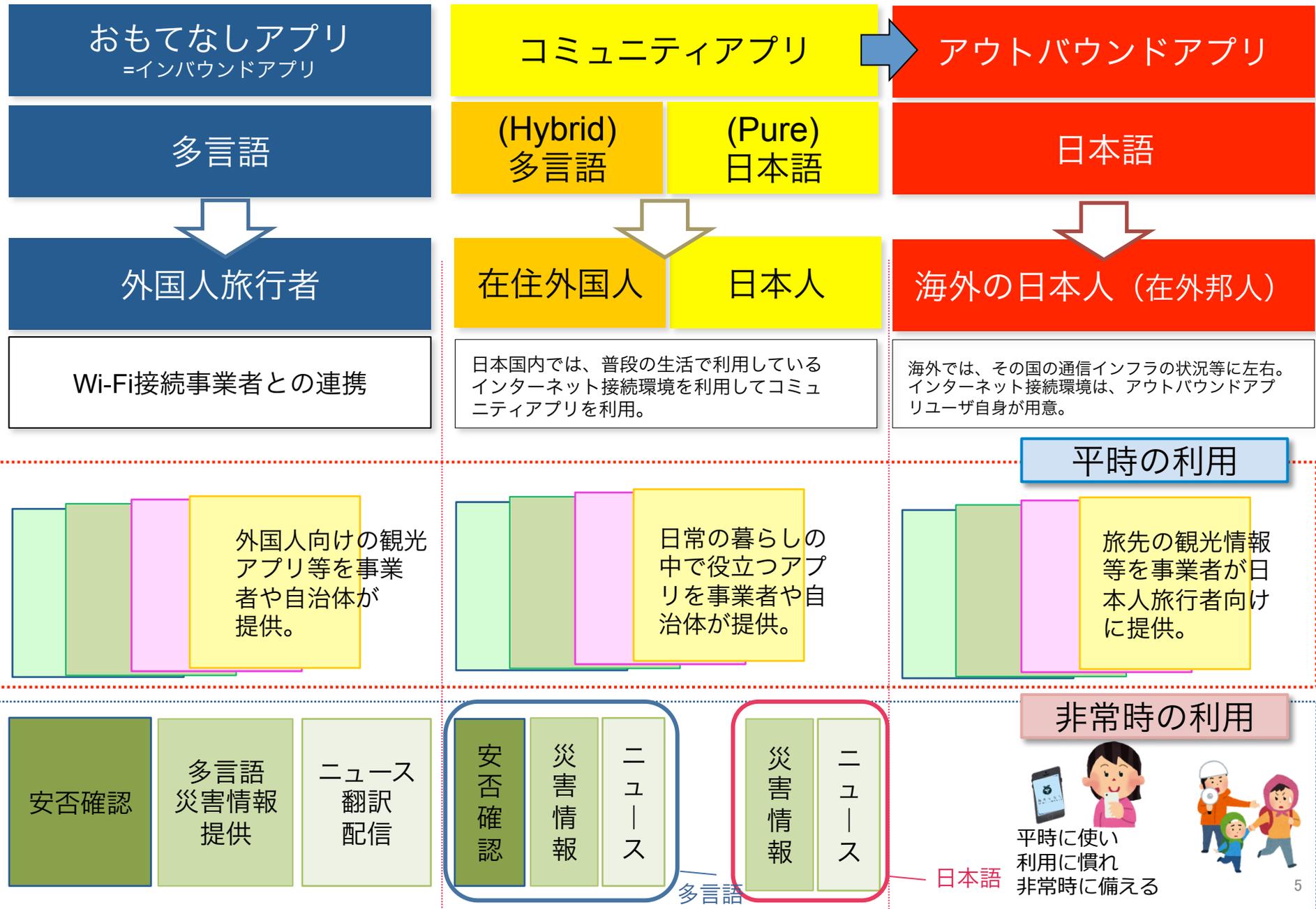
1.4. 安否確認情報サービスタスクフォース

1.5. 多言語対応災害情報システムのユーザグループ

1.6. 多言語ニュース配信

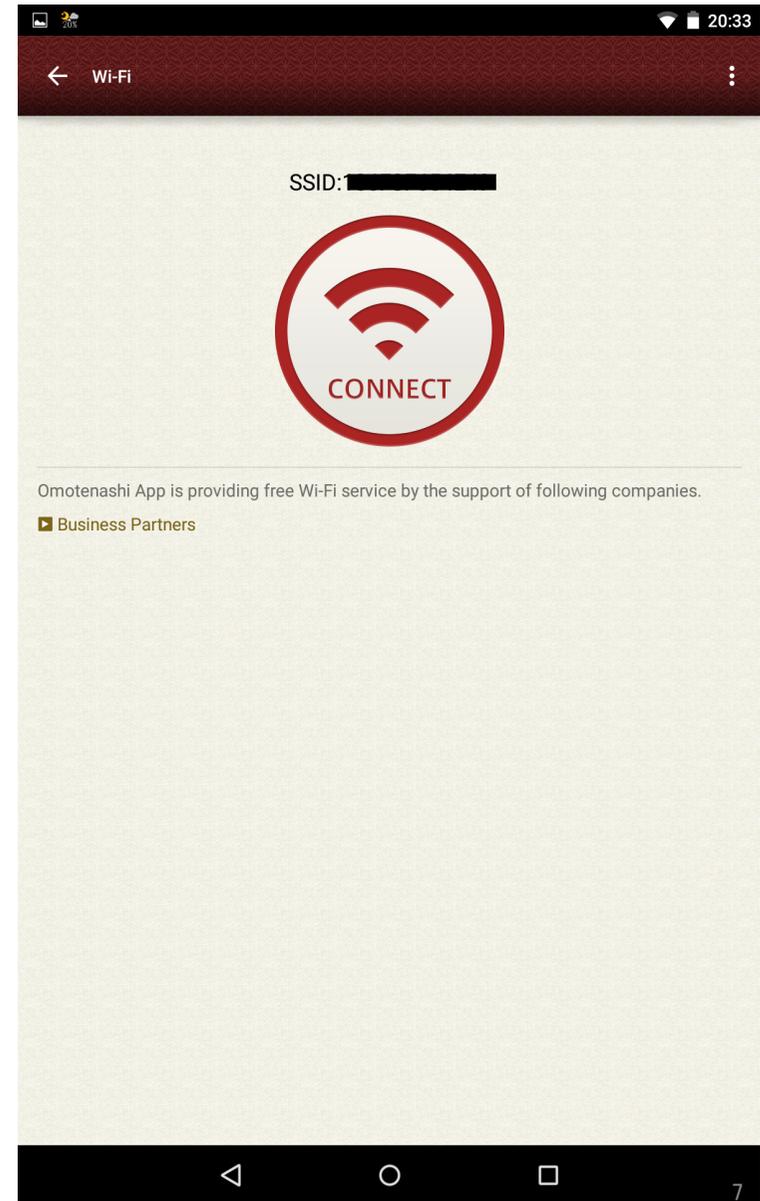
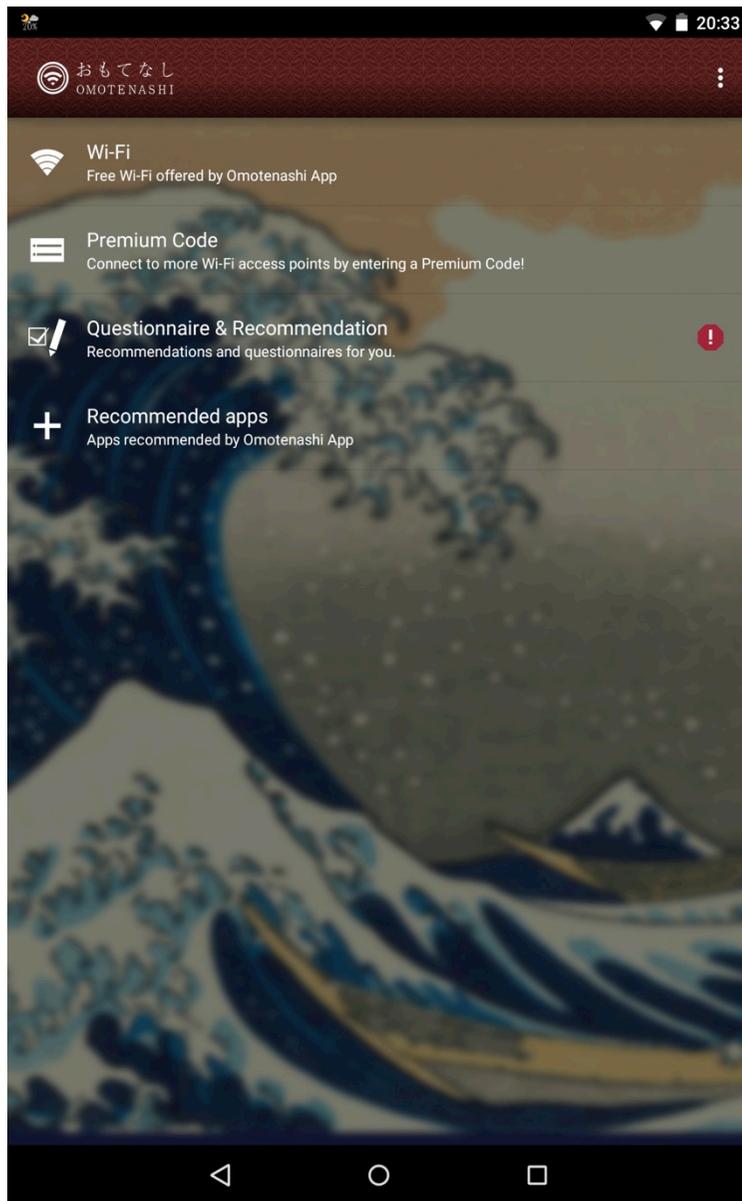
- 分科会ごとに、参加企業や自治体の希望を検討し複数のタスクフォースを設置。
- タスクフォースには、複数の企業や自治体が参加し、社会実装前提の実証実験への取組や、持続可能な事業モデルの検討を実施。
- 事業の成果は広く周知し、既存事業の補完あるいは新規のビジネスモデルとして横への展開をはかる。

おもてなしアプリ、コミュニティアプリ、アウトバンドアプリの相違と役割

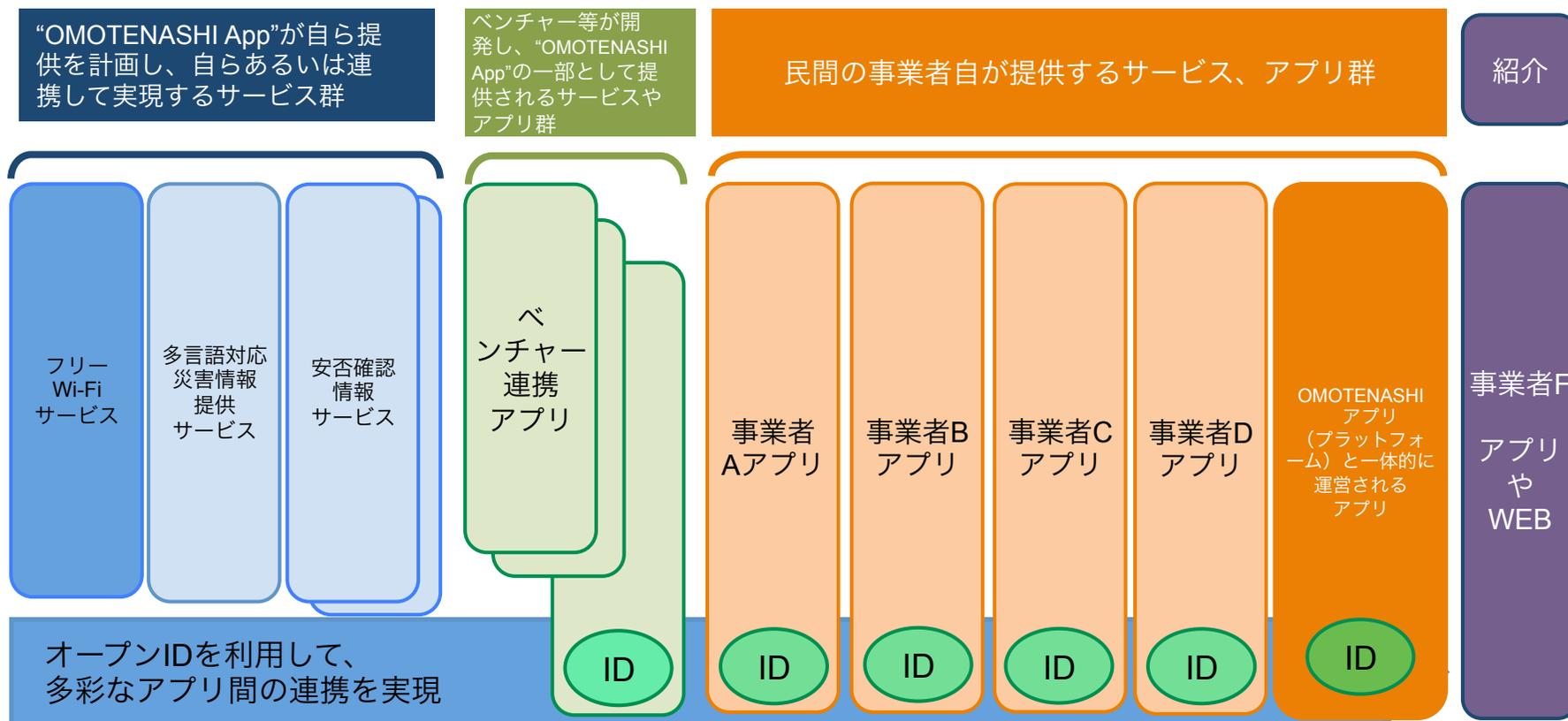


OMOTENASHI App とは
(Wi-Fi接続、各種アプリの共通基盤)

OMOTENASHI App



“OMOTENASHI App”は「アプリのためのアプリ」



ユーザの属性やニーズ、ロケーションのデータを利用する際のルールを整備

外国人旅行者が自身のスマートフォン等にアプリをダウンロードする環境作り

在住外国人や日本人のスマートフォン等にも**災害情報**を伝達

OMOTENASHI App 周知・ダウンロード・利用シーン

海外でダウンロード



日本に来る前に
OMOTENASHI APP
をダウンロード。

日本国内の海外大使館
領事館などに説明・呼
びかけ、母国での周知
をお願いします。

外国人の方に向けた情
報発信を行っている外
国人の方と連携する。

国内でダウンロード



日本の空港に到着後
OMOTENASHI APP
ダウンロード。
(アクセスフリーの
スポットがある)

段階的に、空港、港など
日本の「玄関」に当たる
事業者と連携を計画。

Wi-Fiとの接続



ID連携の仕組みに加盟して
いる事業者のWi-Fiに関し
てはシームレスに接続。
都度登録・認証の手間を
省く。

移動体内では、バックボーン
回線がLTEのため、多数
の接続、安定した帯域の確
保は難しいのが実態。

本田技研工業グローバルテ
レマティクス部の開発した
V2Xユニットネットワーク
との接続を検討・調整中

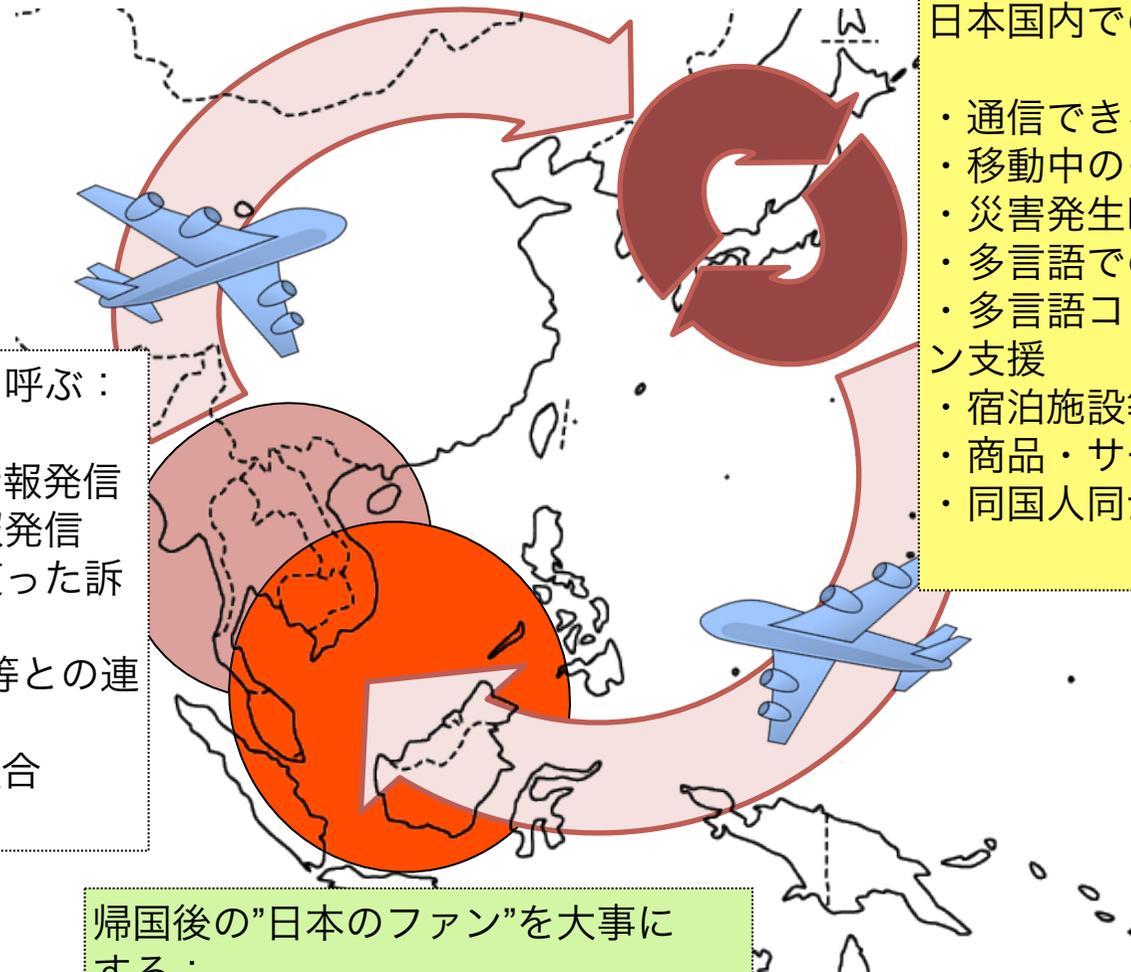
観光と災害に関わる情報



平時は、各種アプリや情報
提供のサービスにより、観光
にかかわる情報を提供。
非常時には災害に関わる情報
を提供。

平時の情報伝達の仕組みを用
い非常時に利用する。

内外を結ぶ”おもてなしアプリ”の取り組み



外国人旅行者を日本に呼ぶ：

- ・外国人目線による情報発信
- ・多数の言語での情報発信
- ・海外テレビ番組を使った訴求
- ・日本開催のイベント等との連携
- ・リアルとネットの融合

日本国内でのもてなし：

- ・通信できる環境の拡充
- ・移動中のもてなしの充実
- ・災害発生時の情報孤立防止
- ・多言語での表記
- ・多言語コミュニケーション支援
- ・宿泊施設等でのもてなし
- ・商品・サービスの購買支援
- ・同国人同士の互助、互恵

帰国後の”日本のファン”を大事にする：

- ・再訪日に誘う魅力ある情報の提供
- ・家族や友人への口コミ伝搬
- ・海外での日本イベント等の紹介
- ・e-コマース